

2014年5月吉日

5月20日 カンヌ国際映画祭にて、アンスティチュ・フランセ運営の 「シネマ・デュ・モンド」パビリオンが Japan Day を開催

日仏文化協力90周年を記念して、カンヌ国際映画祭期間中の5/20日、「シネマ・デュ・モンド」パビリオンでは日本のインディペンデント映画にフォーカスした Japan Day が開催されます。

この Japan Day は、Gateway for Directors Japan 事務局とアンスティチュ・フランセ パリ本部により開催され、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本もサポートしています。

プログラム

10時～12時： 記者会見

- Gateway for Directors Japan プロジェクト参加者による日本におけるインディペンデント映画製作について
- プロジェクト参加者とアンスティチュ・フランセ推薦の映画関係者（監督、プロデューサー、映画祭ディレクターなど）のパネルディスカッション：テーマ「アジアの映画製作における新たな機会」

14時30分～15時30分： ディスカッション

テーマ「日本におけるインディペンデント映画の監督とプロデューサーの孤立化をどのように解消するか」

16時～19時： 個別商談

公募で選ばれた5人の監督と5人のプロデューサーが、各自の企画を海外のプロデューサーらにプレゼン。



「シネマ・デュ・モンド」パビリオン

アンスティチュ・フランセ パリ本部は、今年度もカンヌ国際映画祭の期間中（2014年5月15日～5月24日）、アフリカ、アジア、ラテン・アメリカ、東・中央ヨーロッパ、中近東の映画をプロモーションする「シネマ・デュ・モンド」のパビリオンを設置。



パビリオンの場を新たに映画祭会場中央に移し、心機一転対象国における映画製作および人材の発見、交流、プロモーション場を提供します。

広報担当：津田 桜

電話：03-5798-6008 - メール：sakura.tsuda@institutfrancais.jp

www.institutfrancais.jp